

意見広告

安倍晋三元総理大臣の歴史認識問題での戦いを引き継ごう

歴史認識問題研究会・特別集会
「安倍晋三元首相と歴史認識問題」

12月18日(日)

14:00~16:00(開場13:30)

会場 全国町村会館

東京都千代田区永田町1丁目11-35

◆基調講演 衛藤晟一／参議院議員

◆パネルディスカッション

江崎道朗／(コーディネーター)評論家、歴認研副会長

西岡 力／麗澤大学客員教授、歴認研会長

高橋史朗／麗澤大学特別教授、歴認研副会長

伊藤哲夫／日本政策研究センター代表、歴認研顧問

※事前申込不要、参加費／千円

◎お問い合わせは歴史認識問題研究会事務局まで

7月8日、奈良市で選挙応援演説をしていた安倍晋三元総理大臣が凶弾に倒れ、殉職しました。安倍総理は自身のことを戦う政治家だと公言していました。今も続く反日メディアによる執拗な安倍たたきは安倍総理が「戦後レジーム」と正面から戦っていた証拠です。

安倍総理の戦いは多岐にわたりますが、歴史認識問題で政府がきちんとした反論をするようにしたことその一つです。

自国の歴史をいかに認識するかは、他国の干渉を許してはならない国家・民族の独立を支える支柱です。ところが、事実無根の日本を非難する歴史認識が内外に拡散し、わが国の名誉と国益を大きく傷つける中、政府は謝罪ばかり繰り返し返してきました。

安倍総理は平成28年1月18日、参議院予算委員会です慰安婦問題について次の6点を明言し、我が国の名誉をおとしめる誹謗中傷との戦いを宣言しました。

- 1、慰安婦問題に関して海外に正しくない誹謗中傷がある
- 2、性奴隷、20万人は事実でない
- 3、慰安婦募集は軍の要請を受けた業者が主にこれに当たった
- 4、慰安婦の強制連行を示す資料は発見されていない
- 5、日本政府が認めた「軍の関与」とは慰安所の設置、管理、慰安婦の移送に關与したことを意味する
- 6、政府として事実でないことについてはしっかり示していく

外務省は今、この内容をホームページなどで各国語(日、英、韓、独、仏、伊、西)にして発信しています。

私たちもこの戦いをきちんと引き継ごうではありませんか。

歴史認識問題研究会

【事務局】〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

TEL.04-7173-3197 [メールアドレス] info@harc.tokyo

■会長／西岡力

■副会長／高橋史朗

江崎道朗

ジェイソン・モーガン

■顧問／伊藤隆

伊藤哲夫

櫻井よしこ

田中英道

渡辺利夫

■役員／勝岡寛次

島田洋一

長谷亮介

活動への
ご支援を
よろしく
お願い
いたします

郵便局備え付けの「払込取扱票」を使って入金できます。

●ゆうちょ銀行／口座記号・番号:00210-9-86388

●加入者名／歴史認識問題研究会

尚、ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方、他銀行からの振込みを希望される方は、本会のHPをご覧ください。